

株式会社 笹長商店 代表取締役 ^{ささがわ かずよ} 笹川 和代 氏

日本の伝統文化“きもの”を身近に感じてもらえるお手伝いをしたい



PROFILE

1973年生まれ、新潟市出身。新潟青陵高等学校を卒業後、長野県の信州短期大学に入学。卒業後は一般企業に勤務する。親の病気を機に家業を継ぐことを決心し、2013年に㈱笹長商店に入社。2019年5月、取締役社長に就任する。その他、新潟中心商店街協同組合 副理事長、本町六商店街振興組合 副理事長、新潟県商店街振興組合連合会 理事を務める。新潟商工会議所女性会には8年前に入会。

「きものと帯 笹長」は、130年もの歴史を誇る老舗呉服店。着物ならではの伝統、魅力を大切にしながら、「もっと気軽に着物を着てほしい」と、さまざまなサービスや発信をしている6代目の笹川社長にお話を伺いました。



株式会社 笹長商店

〒951-8067

新潟市中央区本町通6番町1112

TEL : 025-222-8214

<https://www.kk-sasachou.com/>

着物は体型が変わっても対応ができるし、何十年も受け継いでいける。時代を超えて着ることができるのは洋服にはない魅力だと思います

“おもてなしの心”を大切に 和んでいただける接客を

「きものと帯 笹長」は、明治中期に旧白根市で創業。その後3代目が新潟市本町通の現地に店を構え、以来長きに渡り地域の呉服店として愛されてきた。「何よりもお客様を大事にしてきたということ、そしてお客様が欲しいと思う商品を豊富に揃えてきたことが、これだけ長く商売を続けてこられた理由でしょうか」と6代目の笹川社長。自身も「お客様をおもてなしする」という気持ちを一番大切にするとともに、接客する上では「呉服屋さんは敷居が高いという印象があるので、お客様に対して飾らずに、ざっくばらんにお話することで、少しでも和んでいただけるかなと思っています」と話す。

さまざまなサービスを通して 気軽に着物を体験してほしい

同店では着物などの販売だけでなく、レンタル、仕立て直しやお手入れ、着物や浴衣の着付け、コーディネート相談など、さまざまなサービスを展開。基本的な着付けを3回で学べる「着付け教室」も、笹川社長がマンツーマンで丁寧に指導するため、お客様に好評だという。また、数年前から不定期で行っている「きもの体験ランチ」は、着物を着る機会を増やしたいという思いから始めたイベントだ。「着物を着て一人で出かけるのは勇気がいりますが、数人でランチに行くなら時間も短いですし、気楽ですよ。着物を気軽に体験していただくことを目指しています」。



明るく落ち着いた雰囲気の内店は令和3年にリニューアルした。お客様に楽しんでもらえるイベントも企画し、今年6月、10月には店内で「ささちょう寄席」を開催した。

家族から引き継いだ着物のお直しも可能。時節柄、七五三用の小物を探しに来るお客様もいるという。



本町ならではの魅力を発信。 身近な存在の呉服屋でありたい

新潟商工会議所女性会に所属し、今年10月に開催された全国大会では「活動を通して会員みんなで一つの目標に向かう、いい機会でした。みなさんの“おもてなしをしたい”という気持ちは、とても勉強になりました」と笹川社長。また、新潟中心商店街協同組合の副理事長を務めるなど、地域の活性化にも力を入れる。「私が子ども頃の本町は露店も人もすごく多かったです。その記憶があるので今は街が寂しいと感じることがありますが、これからも義理人情を感じられるような、本町商店街にしかない味を出していきたい。お年寄りの方はもちろん、誰もが来やすい街にしていきたいですね」。

現代では、着物は特別な日に着る衣装と捉えられがちだが、「今日は何を着ようかと迷ったときに、着物も選択肢の一つになってほしい。近所の買い物にも着物で出かけようかなと思ってもらえると嬉しいので、着物がもっと身近な存在に感じられるお手伝いができればと思っています」と笹川社長。130年という伝統を受け継ぎながら、暮らしに寄り添う身近な呉服屋としてこれからも歩んでいく。



同店は足袋だけで約10種類もあるなど、お客様が求める商品を豊富に揃えているのが特徴。笹川社長は商品選びはもちろん、着物に関する相談にも気さくに応じてくれる。